



2006年度 文部科学省
「特色ある大学教育支援プログラム」に選定。

採択プログラム（国際関係学部）

アジア理解教育の 総合的取組

「体系的でよく練られたアジア重視型プログラムである点」
「大学の建学の精神が教育プログラムの中に具体化されて
いる点」「アジア地域言語教育／地域研究カリキュラム／現地
体験型学習／学生による企画・参加・実行型の活動の4つが
結びつき、アジア理解に焦点を絞った“総合的取組”と表現
するにふさわしい内容である点」が評価され選定されました。

「特色ある大学教育支援プログラム」とは・・・

さまざまな分野で教育を行っている全国の大学・短期大学の取組の中から、
特色ある優れた実践例を文部科学省が選定し、その取組を広く社会に情報提供
することで大学教育の活性化を図ろうという趣旨で始められたプログラムです。

全国の大学・短期大学から申請された
331件の取組のうち、大東文化大学を
含む計48件の取組が採択されました。

2006年度
採択率
14.5%



実感と共感、 豊かな想像力をともなった アジア理解教育。

本取組は、勉学と課外活動の両面からガイダンスと知的刺激を与えながら、学生たちがアジアについて自ら学びの対象を発見できるよう、またアジアへの主体的な関わりを築けるよう工夫されています。さらに、国際関係学部の教育が一貫して強調してきた、日本とアジアはあくまで「イコールパートナー」であるという認識を築くために、アジアへの共感と豊かな想像力をともなった理解力を育てることを重視しています。このように、アジアへの想像力と理解力を兼ね備えた人材の育成によって、アジアとの共生という現代的課題にも応えています。



アジア地域 言語教育

目的

アジアの人々との心の通いあうコミュニケーション手段として、中国語からアラビア語までのアジア言語の習得を目指します。

課題

- 学生の自発的な学習意欲を引き出すこと。
- 臨場感あふれる授業を行うこと。

対策

- 1: テキストと単語集の開発。
- 2: 単語マラソンなどによる到達度の計測。
- 3: 新聞とインターネットの活用。
- 4: アジア教育交流プログラムの実施。



地域研究カリキュラム

目的

中国と韓国を中心とする東アジア、インドネシア・タイ・ベトナムの東南アジア、インド・パキスタンの南アジア、そしてイランやアラブ諸国を中心とする西アジアの4地域について、それぞれの地域性と多様性をふまえたカリキュラムによりアジア理解を進めます。国際関係学科は政治・経済・社会を中心に、国際文化学科は歴史・文化・芸術を中心に地域研究を行います。

課題

- アジアに対する漠然とした関心を、地域に即した具体的な興味へと発展させること。
- 地域研究とアジア言語教育を有機的に結びつけること。

対策

- 1: チュートリアル・演習による少人数・徹底指導。
- 2: 入門講座と特殊講義の活用。
- 3: アジア言語による授業・アジア言語資料の活用。
- 4: 基礎教材の開発。



「アジアの身体とパフォーマンス」授業風景

東南アジア地域研究を例にした現行カリキュラム

必修科目 選択必修科目 自由選択科目

教育段階	1年「drive」期	2年「challenge」期	3年「advance」期	4年「take off」期
目標	動機づけ	アジアに触れる	アジアを理解する	地域研究のまとめ
主要カリキュラム	地域言語	初級ベトナム語、インドネシア語、タイ語	中級ベトナム語、インドネシア語、タイ語	上級ベトナム語、インドネシア語、タイ語
	英語	総合英語、コミュニケーション英語	英語講座1～12(英語で読むアジア、英語で書くアジア、アジアの平和と安全保障、Speaking Skills、English for International Business、他)	
	演習	チュートリアル	演習Ⅰ	演習Ⅱ 卒業論文演習
	入門講座	社会科学入門1～4 人文科学入門1～4		
	基礎教育科目 専門教育科目	アジア概論、アジア史 国際関係論、比較文化論	東南アジアの政治と国際関係、グローバル化の中の東南アジア経済、ヒトとモノから見た東南アジア社会、東南アジア近現代史、東南アジアの生活と文化、東南アジアの芸能	国際政治学、国際機構論、国際法、開発経済学、国際経済論、東洋史概論、日本と朝鮮半島の近現代史、難民研究、民族問題、アジア文学論、アジア社会論、中国伝統社会論、比較芸術学、NGO活動論、アジアの身体とパフォーマンス、ガムラン合奏、その他
				総合体育(全学部共通)

その他にも大東文化大学では、 さまざまな活動・支援を行っています。

国際交流

異文化を肌で感じながら国際感覚を養えるよう、大東文化大学ではさまざまな留学制度を設けています。渡航先もアジアをはじめ、アメリカやオーストラリアなど、世界各国への留学が可能。18の国・地域の51大学と提携し、国際社会で活躍できる国際人の育成に努めています。

協定校留学制度

学内選考を経て最長1年間交換留学生として学ぶことができます。派遣先での学費が免除になる大学もあり、一定額の奨学金が支給されます。

奨学金留学制度 (留学先を自分で選択)

各学科から1~2名の枠で選考され、奨学金を受けて留学する制度です。選考方法、選考時期および採用数は各学科により異なります。留学先を自分で選択することができます。

私費留学

単位振替のできる私費留学が可能です。留学期間は最長1年間で、留学先が求める資格を満たす必要があります。

短期語学研修

夏休みに中国・イギリス・アメリカで、また春休みにオーストラリアで約1ヶ月間行われる研修です。全学部・全学科の学生が対象です。



地域連携活動

大東文化大学では、キャンパスのある板橋区と連携し、板橋商店街の振興を図る「商学連携事業」や21世紀の地域社会の課題を共同で研究する「地域デザインフォーラム」など、学生の柔軟な発想や大学の専門性を活かした多彩な活動を展開しています。

なかいた環創堂

中板橋商店街に合った商店街振興策を企画。空き店舗に商店街店主や小学生と交流できる空間「なかいた環創堂」を整備し、そこを拠点に活気ある商店街づくりのための研究を行っています。

地域デザインフォーラム

板橋区の区政運営において緊急性の高いテーマなどを区職員と共同研究。「政策評価制度」「産業振興ビジョン」「住民参加の促進」「コミュニカレッジ」の4つの分科会を設置し、それぞれのテーマに沿った研究に努めています。

キャリア支援

思い描く未来を掴むためには、大学の4年間で自分をしっかり磨くことが重要です。大東文化大学では、学生一人ひとりが自分の興味・関心を深めたり、資格取得を目指したり、教養と専門を高めたりしながら有意義に過ごせるよう、さまざまなキャリア支援を行っています。

【充実したキャリア支援プログラム】

各種ガイダンス・セミナー・説明会などを開催し、全学生のキャリア形成をバックアップしています。

- 就職ガイダンス
- 公務員講座・教職講座
- 就職講演会
- Uターン就職ガイダンス
- インターネット模擬試験
- 金融ガイダンス
- 学内就職セミナー
- マスコミ対策講座 他

「PLACEMENT MANUAL」

キャリアセンターでは、毎年、キャリアセンターの利用方法や就職の流れ、面接や就職試験のノウハウなどを記した「PLACEMENT MANUAL」というパンフレットを学生全員に配布しています。



【オープンカレッジ(学内Wスクール)】

ビジネスや就職に役立つ講座から教養・趣味を深められる講座までさまざまな講座を開講しています。

- 板橋キャンパス(全36講座)
芸術講座(2講座) / 語学講座(2講座) / 就職支援講座(3講座) / 資格受験対策講座(23講座) 他
- 大東文化会館(全34講座)
芸術講座(6講座) / 語学講座(9講座) / 資格受験対策講座(1講座) 他
- 東松山キャンパス(全54講座)
歴史・考古学講座(2講座) / 芸術講座(9講座) / 語学講座(8講座) / 資格受験対策講座(23講座) 他

採択プログラムに関するお問い合わせ先

大東文化大学

〒175-8571 東京都板橋区高島平1-9-1
大東文化大学 学務課
TEL.03-5399-7333
大東文化大学URL <http://www.daito.ac.jp/>

国際関係学部(東松山キャンパス)
〒355-8501 埼玉県東松山市岩殿560
国際関係学部URL <http://www.daito.ac.jp/gakubu/kokusai/>



板橋キャンパス



東松山キャンパス